

赤穂高校音楽部の横川温花さん

声楽の甲子園 2年連続出場

赤穂高校(赤穂市海浜町)3年で音楽部の横川温花さん(18)が「声楽の甲子園」といわれる「第76回滝廉太郎記念全日本高校声楽コンクール」(10月14～16日、大分県竹田市)で県代表として独唱する。8月25日に姫路市内で開かれた県高校独唱独奏コンクールの声楽部門で昨年に続く最優秀賞に輝き、県内初の2年連続出場を決めた。ソプラノで歌う表現力や音楽性が高く評価された。(坂本 勝)

横川さんは幼稚園の頃、ダンスを続ける。音楽大学映画「オペラ座の怪人」を、進学を志望し、将来は劇団見てミュージカルに憧れ、AI・OIすみれ少年少女合唱団に入団。相生市立双葉中3年時に大阪国際音楽コンクール声楽部門中学生の名は「ミミ」(歌劇「ラ・ボエーム」より)を独唱した。レッスンやバレエ、ジャズ1人暮らしでお針子の若い

来月14～16日、大分・竹田

「今年は本選進出を」

女性「ミミ」が、詩人の男性に自己紹介する場面を生き生きと歌った。「年齢に合って表現しやすい曲を選んだ」と横川さん。出演順が早かったため、声がしつかり出るよう入念に準備。音楽科の3年生が多数出場し、難しい選考になる中、今年も最優秀賞を得た。「2年続けて選んでいただけて驚いた。力を出し切れた」。かつて一緒に合唱団にいた弟虹太さん(15)「相生高1年」が奨励賞に入る喜びも重なった。

滝廉太郎記念コンクールは竹田市がまちを挙げて出場者を迎える大会。横川さんは「昨年果たせなかった本選に進みたい」と意気込み、1、2位に与えられるウィーンへの短期留学助成を目指す。

横川さんは大阪国際音楽コンクールと日本国際音楽コンペティションの声楽でも本選を通過。10月9日と12月27日にあるファイナルに出場する。

「声楽の甲子園」に
2年連続で出場する
横川温花さん
赤穂高校

